

欧州特許庁、2013年の出願件数を公表

2014年1月21日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、1月16日、2013年の出願件数（速報値）を公表した。プレスリリースによれば、出願件数は265,000件で2012年に比べて2.8%増加し、登録件数も66,700件と1.7%増加した。

EPOのバティステリ長官は、プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。「これらの数値は、欧州がグローバルなイノベーションの拠点の1つとして重要であることを明確に示すものである。今年は、EPOへの出願件数が連続で増加した4番目の年に当たる。出願手続の最近の規則変更が出願件数の伸び率を適度なものとどめたものの、出願件数は上昇しており、欧州における特許への需要が上昇傾向にあることは明らかである。」

なお、今回公表された2013年の出願件数は、EPOに直接出願された件数に、国際段階におけるPCT出願の件数を足し合わせたもの。参考までに、2012年のEPOへの出願件数について、日本国特許庁の特許行政年次報告書と同様の算出基準で見ると、出願件数は148,494件（EPOに直接出願された件数に、Euro-PCT域内段階件数¹を足し合わせた数値（2012年の確定値；対前年比で4.0%増加））となっている。

◆欧州外からの国別出願件数（総出願数の64.7%）

- 1位：米国（総出願数の24.5%；対前年比で2%増加）
- 2位：日本（総出願数の19.7%；対前年比で1.2%増加）
- 3位：中国（総出願数の8.4%；対前年比で18%増加）
- 4位：韓国（総出願数の6.4%；対前年比で16.6%増加）

◆欧州内からの国別出願件数（総出願数の35.3%；対前年比で±0%）

- 1位：ドイツ（総出願数の12.1%；対前年比で6.3%減少）
- 2位：フランス（総出願数の4.6%；対前年比で±0%）
- 3位：スイス（総出願数の3%；対前年比で2.2%減少）
- 4位：オランダ（総出願数の2.9%；対前年比で18%増加）
- 5位：英国（総出願数の2.5%；対前年比で2.9%減少）
- 6位：スウェーデン（総出願数の1.9%；対前年比で7.7%増加）

¹ PCT出願のうち、欧州域内段階へ移行した件数。

— EPO のプレスリリースは、以下参照 —

[New peak at the European Patent Office: more than 265 000 patent filings received in 2013 \(+2.8%\)](#)

— 欧州特許庁の 2012 年の出願件数（日本国特許庁の特許行政年次報告書と同様の算出基準による数値）及びその前年との比較は、それぞれ、以下参照 —

[European patent applications filed with the EPO](#)

[Statistics and trends, European patent applications filed with the EPO](#)

— 欧州特許庁の 2012 年の出願件数（国際段階における PCT 出願数を含めた総計）は、以下参照 —

[Total European patent filings](#)

— 欧州特許庁の 2012 年の出願件数に関する欧州知財ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁、2012 年の出願件数を公表（2013 年 1 月 21 日）\(PDF\)](#)

(以上)